

まえがき

玉川の里は、高槻の市民の花「卯の花」が咲くことでも知られています。

玉川に沿って約 1km に渡り桜並木が続く、高槻を代表する桜スポットのひとつでもあります。

玉川の里へは、玉川橋団地バス停から玉川の里に入ります。

玉川橋団地バス停には、JR 高槻駅バス乗り場から高槻市営バスが出ていますが、午前中に 8 時台に 1 本あるのみです。

柱本団地行バスは、1 時間 2 本程度ありますので、唐崎西口バス停で下車し、西へ約 650m（徒歩 10 分程度）で玉川橋団地バス停に着きます。

この道は、玉川水路沿いの道で風景を楽しみながらウォーキングしましょう。

玉川橋団地バス停には、茨木駅行きの京阪バスが 1 時間に 4 本程度走っています。

玉川の里は、番田水路緑道とも言っていますが南へ約 1 Km の桜並木です。

玉川の里の南端西面大橋から西面中 2 丁目・1 丁目は、三島江から茨木村（茨木市）への主要道が走っていました。今は府道 138 号三島江茨木線です。

西面を東に行くと三島江町で歴史ある三島鴨神社があります。

三島鴨神社は、淀川の中の摂津の御島といわれた川の中州にありました。

慶長 3 年（1598 年）武士専制時代に淀川右岸築堤がおこなわれ、唐崎・三島江浜が出来ました。淀川は、古くから歴史の道として大陸文化をもたらし、三島江にも河港が設けられた。



淀川兩岸一覽下船之卷「三嶋江」
 (大阪市立図書館デジタルアーカイブ)